11 月の富浦地区サークル&団体活動予定

開催日	時間	活動内容	場所	備 考
11 月 1 日& 11 月 22 日 第 1・第 4 日曜	10:00～ 12:00	びわっこガーデン遊び場開放	富浦中央 児童遊園	既存の公園の遊具に加えて協議会で所有する電動工具、シャボン玉等遊具で思い切り遊んでください。予約不要です。
11 月 11 日& 11 月 25 日 第 2・第 4 水曜	13:30～ 15:00	ロコモ体操教室 （軽スポーツ）	とみうら 元気倶楽部	足腰の衰えを防ぎ元気に動ける体を保つための体操です。予約不要です。お気軽にご参加ください。
毎週 金曜日	9:00～ 12:00	ペタンク （軽スポーツ）	南無谷 ペタンク 広場	目標に向けて金属製のボールを投げあって相手より目標球に近づけ得点を競うスポーツです。
第 3 月曜日	13:30～ 16:30	びわダイニング	とみうら 元気倶楽部	四季折々の作品を折り紙細工、つる細工などを作って地域のお年寄りに寄贈しています。
第 3 木曜日	12:30～ 16:00	富浦俳句会 （俳句愛好会）	とみうら 元気倶楽部	男女・年齢問わず俳句好きな方が集まり、俳句作りを楽しんでいます。
毎週 土・日・祝	9:00～ 12:00	ステーションそら （おしゃべりによる憩いの場）	富浦駅前旧 観光案内所	気軽に集っておしゃべりやお茶を楽しむ場です。お気軽にお立寄りください。

サークル活動について掲載を希望される方は元気倶楽部受付までお声がけください。

富浦お田植祭

実りの秋、お米をみんなに！

9月は雨が続きなかなか収穫ができず心配しましたが、秋晴れの10月6日に無事に刈り取ることができました。そのお米を奨太さんに袋詰めをしていただき、集合写真をポストカードにしたものと一緒に参加者の皆さんにプレゼントしました。



心を込めて袋詰め



今年もおいしいお米ができました！



田植えの思い出をポストカードに

企画・編集：富浦地域づくり協議会「さざなみ」地域づくり支援員 ☎0470-33-3412



富浦の伝統と元気が集う！

富浦演芸大会

～人形浄瑠璃と、みんなの演芸で楽しいひとときを～

安房人形浄瑠璃保存会の皆さんによる
人形浄瑠璃上演

地域に受け継がれてきた伝統芸能・人形浄瑠璃をぜひご覧ください。
（上演時間は変更となる場合があります）



参加者の皆さんによる
演芸大会

カラオケ、踊り、かくし芸、詩吟など、演目多数！
地域の皆さんの元気なステージをお楽しみください。



出演者を同時に大募集！
歌・踊り・かくし芸など
皆さんのご出演を
お待ちしています。
観覧の方も大歓迎！

日　時　令和8年12月18日（金）
開場 12:00　開演 12:30　終了予定 15:30

会　場　とみうら元気倶楽部「さざなみホール」
（南房総市富浦町原岡88-2）

送迎バスあり　南無谷・小浜地区 ～ とみうら元気倶楽部間 の送迎を行います。
利用希望者は、☎ 090-8871-8995（片岡）までご予約ください。

主　催　南房総市黒潮シニアクラブ富浦支部

お問い合わせ
- とみうら元気倶楽部　☎ 0470-33-3412（平日・土日 9:00～16:30）
- 南房総市社会福祉協議会 内房支所　☎ 0470-36-2276

まちの話題 ｜ 道の駅とみうら

おめでとう！ 枇杷倶楽部33周年

11月28日（土）は周年祭。地元の皆さんも、ぜひ！



生まれ変わったカフェ



彩り豊かなびわカレー



びわを使ったコッペ

道の駅とみうら「枇杷倶楽部」は、11月27日に開業33周年を迎えます。
富浦町時代に道の駅構想が始まり、1993年に開業しました。当時は町内にも多くの商店が営業していたため、地元のお店と商品が競合しないよう配慮しながら、地域資源を活用した体験型観光農業や、特産のびわを使った商品開発などに取り組み、観光客の誘致に力を注いできました。
その後も、観光や地域経済を取り巻く環境の変化に合わせて、さまざまな工夫を重ねてきました。その一つが、傷つきやすく取り扱いが難しいびわの規格外品の有効活用です。加工品などに生かすことで、地域の特産品を無駄なく活用する取り組みを進めてきました。
また、旧富浦町時代から交流のある新潟県の旧湯之谷村（現在の魚沼市）とのつながりも、現在まで大切に受け継がれています。
おなじみの枇杷倶楽部ですが、カフェや地元産品の売場など、改めて訪れてみると新しい発見があるかもしれません。
今回お話を伺った株式会社ちば南房総の取締役統括部長・小川雄一さんからは、観光客だけでなく、地元の皆さんにも気軽に足を運んでほしいという思いが伝わってきました。

取材協力：株式会社ちば南房総 小川雄一さん ｜ 写真提供：枇杷倶楽部

まちの人 ｜ 新しい顔

「困ったときに頼ってもらえるお店に」

コメリ富浦店に新店長・三好芽生さんが着任



猫のえさ売り場で、三好芽生店長。

９月、コメリ富浦店に新しい店長が着任しました。三好芽生（みよし・めい）さんです。愛媛県松山市の出身。千葉県内の大学を卒業後、コメリに入社し、県内の店舗や静岡県の富士川店で経験を積んできました。今回が初めての店長就任です。
「お客様と信頼関係を築き、困りごとがあればしっかり向き合いたい」と三好さん。７人のスタッフそれぞれの得意なことを伸ばしながら、地域の人に役立つ店を目指します。
富浦の第一印象は、目の前に道の駅があり、活気があること。地元の買い物客だけでなく、夏には海遊び用品などを求める観光客も訪れます。取材中に教えてくれたのは、「富浦店では猫のえさがよく売れる」という、ちょっと意外な話でした。
休日はロック系のライブを楽しむため、東京まで足を運ぶことも。富浦ではすでにお寿司を味わい、おいしさが印象に残ったそうです。
「より多くの方々のお役に立てるお店に」。新店長のこれからに注目です。

地域からも「これからもよろしく！」

富浦では、こども園や小学校などの活動を通じて、コメリとのつながりが育まれています。日々の暮らしはもちろん、畑仕事や庭の手入れ、住まいの修繕などで、お世話になっている方も多いのではないでしょうか。身近なお店に新しい店長さんを迎え、地域の私たちからも「これからもよろしくお願いします！」。お店で顔を合わせ、言葉を交わしながら、これからのお付き合いを深めていけたらうれしいですね。

協働つうしん 11月号 ｜ 暮らしの防災

次は、わが家かも・・・！？

今年８月、千葉県を襲った記録的な豪雨では、住宅が浸水し、尊い命も失われました。その後の豪雨では、南房総市や館山市でも被害が出ました。「ここは大丈夫」と思っていた日常が、大雨で一変するかもしれません。下の呼びかけは、避難の情報が出ていても多くの命が失われた平成30年７月豪雨の教訓から、国の中央防災会議の専門家らがまとめたものです。強い言葉に込められた願いを、自分や家族のこととして受け止め、行政の支援と地域の助け合いを生かし、早めの避難につなげましょう。

国民の皆さんへ ～大事な命が失われる前に～

・自然災害は、決して他人ごとではありません。「あなた」や「あなたの家族」の命に関わる問題です。

・気象現象は今後更に激甚化し、いつ、どこで災害が発生してもおかしくありません。

・行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。

・行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。

・避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。皆さんの命は皆さん自身で守ってください。

・まだ大丈夫だろうと思って亡くなった方がいたかもしれません。河川の氾濫や土砂災害が発生してからではもう手遅れです。「今、逃げなければ、自分や大事な人の命が失われる」との意識を忘れないでください。

・命を失わないために、災害に関心を持ってください。
　○あなたの家は洪水や土砂災害等の危険性は全くないですか？
　○危険が迫ってきたとき、どのような情報を利用し、どこへ、どうやって逃げますか？

・「あなた」一人ではありません。避難の呼びかけ、一人では避難が難しい方の援助など、地域の皆さんで助け合いましょう。行政も、全力で、皆さんや地域をサポートします。

出典：中央防災会議 防災対策実行会議 ワーキンググループ（平成30年12月）
「平成30年７月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について（報告）」33頁
豪雨の参照：気象庁（令和８年９月16日）／全社協（同年８月17日）

家族で「いつ・どこへ・どう逃げる？」を確かめましょう。

Web版ハザードマップで、あなたの家のリスクを見たことがありますか？

今夜できる、わが家の防災

停電の夜、わが家は大丈夫？

突然、明かりが消えたら…。備えは「持っている」から「使える」へ。
明るいうちに、３つのポイントを確かめておきましょう。

□ ライトはつく？

懐中電灯は実際に点灯を。
寝室や居間など、手の届く場所に備え、予備の乾電池も確認しましょう。

□ 充電はできる？

モバイルバッテリーの残量と、携帯電話に合うケーブルを確認。ふだんから充電しておきましょう。

□ 置き場所は共有？

明かりの置き場所を家族で確認。ひとり暮らしの方も、寝る場所から手の届く位置か確かめましょう。

今夜、家族でひとつ確かめてみませんか？

参考：千葉市「災害時の停電への備え」／内閣府「家庭における地震時等の停電対策について」